



2021年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年9月10日

上場会社名 株式会社イムラ封筒 上場取引所 東
 コード番号 3955 URL https://www.imura.co.jp
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)井村 優
 問合せ先責任者 (役職名)取締役常務執行役員管理本部長 (氏名)食野 直哉 (TEL)06(6586)6121
 兼経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 2020年9月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年1月期第2四半期の連結業績(2020年2月1日～2020年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期第2四半期	11,659	△6.5	937	30.5	1,010	33.0	650	31.1
2020年1月期第2四半期	12,468	4.9	718	80.3	759	65.6	496	88.3

(注) 包括利益 2021年1月期第2四半期 475百万円(14.3%) 2020年1月期第2四半期 416百万円(71.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年1月期第2四半期	64.24	63.69
2020年1月期第2四半期	48.08	47.54

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年1月期第2四半期	18,432	13,932	75.3
2020年1月期	18,009	13,591	75.2

(参考) 自己資本 2021年1月期第2四半期 13,882百万円 2020年1月期 13,540百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年1月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2021年1月期	—	0.00			
2021年1月期(予想)			—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年1月期の連結業績予想(2020年2月1日～2021年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	2.5	900	33.3	950	25.5	650	29.6	64.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年1月期2Q	10,729,370株	2020年1月期	10,729,370株
2021年1月期2Q	583,129株	2020年1月期	612,429株
2021年1月期2Q	10,125,327株	2020年1月期2Q	10,321,898株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、本資料の発表日現在において経済環境や事業計画等に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(追加情報)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により、個人消費や企業活動が制限されるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの事業領域に影響を及ぼす郵便及びメール便市場においては、普通通常郵便物及びメール便の取扱数量は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、減少幅を拡大させており、また、ダイレクトメール市場の動向も大幅な縮小に転じており、当社グループを取り巻く環境は厳しい状況で推移いたしました。

このような情勢のもと、当社グループは、「Give & Give & Give (全ての人に最高の付加価値を届け続ける)」をテーマに掲げ、お客様に満足いただけるソリューションサービス分野への取り組みを、全社を挙げて進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高はコロナ禍による日本経済の大幅な停滞に伴う需要の後退により116億59百万円(前年同期比6.5%減)となりました。損益面につきましては、前期より進めてまいりました生産体制の合理化と再構築(人員配置の見直し、機械設備の最適配置等)による原価低減や不採算工場の閉鎖等による固定費の削減、コロナ禍への対応として変動労務人件費や販売管理費等の削減、並びに不採算案件の見直し等の収益を重視した各種販売施策の浸透により収益性が大きく改善されたことから、営業利益は9億37百万円(前年同期比30.5%増)、経常利益は10億10百万円(前年同期比33.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億50百万円(前年同期比31.1%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(パッケージソリューション事業)

官需が発生するものの、経済活動停滞に伴うイベント告知等のDM用封筒を中心に需要が後退し、売上高は87億80百万円(前年同期比9.0%減)となりました。損益面では、上述の収益性の改善により、営業利益は6億63百万円(前年同期比27.3%増)となりました。

(メーリングサービス事業)

新規取引先の拡大並びに既存取引先への深耕活動に加え、官需の取り込みもあって、売上高は20億8百万円(前年同期比5.5%増)となりました。損益面では、内製化推進等による売上総利益率の改善に加え、増収効果もあって、営業利益は2億51百万円(前年同期比104.0%増)となりました。

(その他)

子会社2社がコロナ禍による需要後退の影響を受けたことにより、売上高は8億70百万円(前年同期比4.9%減)となり、営業利益は17百万円(前年同期比75.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4億22百万円増加して184億32百万円となりました。これは主に、現金及び預金が増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ81百万円増加して44億99百万円となりました。これは主に、未払法人税等が増加したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ3億41百万円増加して139億32百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものです。

なお、自己資本比率は同0.1ポイント上昇して75.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ7億38百万円増加して29億37百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の収入は13億29百万円となりました。これは主に、資金の増加要因として税金等調整前四半期純利益9億37百万円、売上債権の減少額3億57百万円、減価償却費2億94百万円、資金の減少要因として仕入債務の減少額3億16百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の支出は4億20百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2億64百万円、投資有価証券の取得による支出2億円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の支出は1億70百万円となりました。これは主に、配当金の支払額1億51百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出15百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,344	3,028
受取手形及び売掛金	3,627	3,295
電子記録債権	672	646
商品及び製品	565	507
仕掛品	243	231
原材料及び貯蔵品	512	490
その他	349	496
貸倒引当金	△9	△7
流動資産合計	8,304	8,689
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,491	1,395
機械装置及び運搬具(純額)	1,919	1,859
土地	3,655	3,639
その他(純額)	367	487
有形固定資産合計	7,433	7,382
無形固定資産		
無形固定資産	60	61
投資その他の資産		
投資有価証券	1,071	1,095
退職給付に係る資産	552	523
その他	623	716
貸倒引当金	△36	△36
投資その他の資産合計	2,211	2,299
固定資産合計	9,705	9,743
資産合計	18,009	18,432

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,184	881
電子記録債務	1,205	1,191
未払法人税等	180	342
賞与引当金	462	513
その他	1,004	1,184
流動負債合計	4,036	4,113
固定負債		
退職給付に係る負債	77	80
資産除去債務	120	119
その他	184	185
固定負債合計	381	386
負債合計	4,418	4,499
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	1,366	1,368
利益剰余金	10,292	10,791
自己株式	△324	△308
株主資本合計	12,533	13,049
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	317	196
退職給付に係る調整累計額	689	635
その他の包括利益累計額合計	1,007	832
新株予約権	37	37
非支配株主持分	13	13
純資産合計	13,591	13,932
負債純資産合計	18,009	18,432

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)
売上高	12,468	11,659
売上原価	9,493	8,633
売上総利益	2,975	3,026
販売費及び一般管理費	2,256	2,088
営業利益	718	937
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	27	28
受取賃貸料	10	10
助成金収入	-	18
売電収入	5	5
その他	19	19
営業外収益合計	62	82
営業外費用		
支払利息	0	1
貸貸費用	3	3
貸倒引当金繰入額	5	-
売電費用	2	2
その他	8	2
営業外費用合計	21	9
経常利益	759	1,010
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	0	-
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	1	-
固定資産除却損	10	6
減損損失	-	56
投資有価証券評価損	-	10
特別損失合計	12	73
税金等調整前四半期純利益	747	937
法人税、住民税及び事業税	201	305
法人税等調整額	48	△18
法人税等合計	250	286
四半期純利益	497	650
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	496	650

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)
四半期純利益	497	650
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21	△121
退職給付に係る調整額	△59	△53
その他の包括利益合計	△80	△175
四半期包括利益	416	475
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	415	475
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	747	937
減価償却費	306	294
減損損失	-	56
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5	△2
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4	51
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1	3
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	23	29
株式報酬費用	11	11
受取利息及び受取配当金	△27	△28
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	-
支払利息	0	1
売上債権の増減額(△は増加)	△569	357
たな卸資産の増減額(△は増加)	△127	91
仕入債務の増減額(△は減少)	△147	△316
その他	△221	△35
小計	△0	1,450
利息及び配当金の受取額	27	28
利息の支払額	△0	△1
法人税等の支払額	△39	△148
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13	1,329
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△454	△264
無形固定資産の取得による支出	△9	△11
資産除去債務の履行による支出	△49	-
投資有価証券の取得による支出	△9	△200
投資有価証券の売却による収入	0	-
定期預金の増減額(△は増加)	15	54
保険積立金の解約による収入	43	-
その他	20	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△443	△420
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△15	△15
自己株式の取得による支出	△58	△3
配当金の支払額	△143	△151
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△217	△170
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△674	738
現金及び現金同等物の期首残高	2,386	2,199
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,712	2,937

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り）

新型コロナウイルス感染症拡大は、当第2四半期連結累計期間の繰延税金資産の回収可能性や固定資産の減損会計等の会計上の見積りに大きな影響を与えるものではないと想定しております。

なお、今後の影響については不確定要素が多いため、その状況によっては当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第2四半期連結累計期間において、2020年3月16日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を取得しました。さらに、2020年5月15日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行いました。これらの結果、資本剰余金が2百万円増加、自己株式が15百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末において、資本剰余金が1,368百万円、自己株式が308百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年2月1日至2019年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パッケージ ソリューション 事業	メーリング サービス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,651	1,903	11,554	914	12,468	—	12,468
セグメント間の内部 売上高又は振替高	38	0	38	20	58	△58	—
計	9,689	1,903	11,592	935	12,527	△58	12,468
セグメント利益	521	123	644	71	715	3	718

(注)1 その他には、以下の事業が含まれております。

コンピュータ及び周辺機器類の販売、ソフトウェアの開発
医療機関用印刷物の製造販売及び医療機関用諸物品の販売
機械器具の自動制御装置及び電子回路の設計製造販売

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年2月1日至2020年7月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パッケージ ソリューション 事業	メーリング サービス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,780	2,008	10,789	870	11,659	—	11,659
セグメント間の内部 売上高又は振替高	30	0	31	17	48	△48	—
計	8,811	2,008	10,820	888	11,708	△48	11,659
セグメント利益	663	251	915	17	932	5	937

(注)1 その他には、以下の事業が含まれております。

コンピュータ及び周辺機器類の販売、ソフトウェアの開発
医療機関用印刷物の製造販売及び医療機関用諸物品の販売
機械器具の自動制御装置及び電子回路の設計製造販売

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

「パッケージソリューション事業」において、山口美和工場閉鎖の決定に伴い、該当する資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては56百万円であります。